

新型コロナウイルスから市民の暮らしを守る緊急要望書

新型コロナウイルス感染症は、短期間のうちに急速な広がりを見せ、医療機関従事者や保健所職員にも感染し、危機的な状況が続いております。また、市内経済にも影響を与え、小規模事業者の多い本市は、あらゆる支援が求められております。国の緊急経済対策として、待望の特別定額給付金が決定しましたが、窓口業務は、市町村対応となっており、迅速に混乱なく給付する必要があります。つきましては、新型コロナウイルスから市民の暮らしを守るため、左記の項目について対策を講じられるよう、緊急要望いたします。

記

- 一、 特別定額給付金の迅速な給付に向け、体制の強化
 - (一) 電話相談ダイヤルの設置
 - (二) 給付を装った詐欺被害の防止
 - (三) DV等で世帯主と別居されている方への適切な給付
- 二、 川口市小規模事業者等事業継続緊急支援金の迅速な給付
 - (一) 申請手続きの簡素化
 - (二) 相談体制の強化と事業者への周知の徹底
- 三、 国の給付金から漏れた事業者向けの支援の創設
- 四、 新型コロナウイルス感染症対応協力医療機関への支援の創設
- 五、 個人向け減収対策緊急支援金の創設
- 六、 市税・国民健康保険税・介護保険料の徴収猶予
- 七、 公共料金（上下水道料金）等の支払いの猶予
- 八、 個人向け生活福祉資金の特例措置の導入
 - (一) 貸付け限度額の拡大
 - (二) 据え置き期間の延長
- 九、 プレミアム付き商品券発行事業の実施
 - (一) 個店を守るため、過去最大規模の割引率
 - (二) 購入を希望する全ての市民を対象

令和二年四月二十七日

公明党川口市議会議員団 団長 大関 修克

川口市長 奥ノ木 信夫 様